

2016初夏 魅せます!伝えます!



MITOYA

島根三刀屋
県立高校

蒼雲

学校だより

第108号

県高校総体&高文連活動他

私たちに続け未来の三高生



8/23

(火)は三刀屋高校オープンキャンパス

【発行所】
三刀屋高等学校
〒690-2404
雲南市三刀屋町
三刀屋912-2
TEL : 0854-45-2721
FAX : 0854-45-5630

【印刷所】
有限会社木次印刷
〒699-1312
雲南市木次町山方
630-5
TEL : 0854-42-8133
FAX : 0854-42-8155



新年度用の『学校案内』はオープンキャンパスで配布します。左は昨年度作成した『学校案内』です。

道を拓く!三刀屋高校総合学科

今年も三高ビジュアル系美男美女 (自称) 408名 がお待ちしています

中学3年生と保護者の皆様のお越しをお待ちしています

(近隣中学校の皆さんには、7月中旬に学校を通じてご案内します)

つながろう三高
つながろう雲南

如己愛人

兼編集後記

「人生は敗者復活戦ぞ」
(故薦文也監督)

お断り
今号は6月17日付としてありますが、印刷業者への出荷が遅れたため、お手元に届くのが遅過になったかもしれません。お詫び申し上げます。

県高校総体が終わり、今号ではその結果を簡単に紹介しました。歡喜の勝利もあれば、悔いの残る戦いもあったことと思います。紙面だけではその熱い思いを十分に伝えることはできませんが、同じ三高生の奮闘ぶりを感じてもらいたいと思います。ネット上のニュースで、「たかが野球、されど野球」の名言を遺した徳島県立池田高校野球部の名將、故薦文也監督に係る記事が目に残りました(6/6、YOMURI ONLINE)。(1976年に徳島県の)県高校野球連盟がまとめた冊子に、薦さんは「私の野球は負けからの出発でありました」と寄せている。「負けることは不名誉なことは考えませんが、人間が駄目になってしまつことだと思えます」と続く。負ければ終わりの甲子園で、比類なき強さを発揮する以前再挑戦し続けた日々を支えたのは、「野球とは違い、人生には敗者復活戦がある」との信念だったのだらう。この記事をそのまま、自分の目標に挑戦し続けるすべての高校生に贈ります。(編集長記)

第54回島根県高等学校総合体育大会

全校生徒数		体育系部員数	
男子	182	男子	150
女子	226	女子	93
408		243	

(5月1日現在)



祝 インターハイ出場へ

女子ソフトボール(8/2、6、広島県尾道市)

少林寺拳法 門脇 宥紀菜(3年)

(7/31、8/2、岡山県美作市)



<男子決勝> 5回コールド

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	計
三刀屋	2	1	2	0	4			9
安来	0	0	0	0	2			2

<女子決勝>

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	計
三刀屋	1	4	2	0	0	0	0	7
大東	1	0	0	0	0	2	0	3

<島根県・山口県ブロック代表決定戦>

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	計
三刀屋	5	0	0	1	0	3	0	9
徳山(山口)	0	0	1	3	0	0	6×	10

<女子準決勝> 5回コールド

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	計
三刀屋	3	0	2	9	2			16
出雲商業	0	0	0	0	1			1

<女子準々決勝> 5回コールド

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	計
安来	0	0	0	0	0			0
三刀屋	3	8	15	2	×			28



(6/4~5、大社高校)

県総体 で昨年の雪辱
ブロック代表決定戦 山口県代表に惜敗

男子 2年振り28回目

ソフトボール

県内高校4大会完全制覇

女子 5年連続30回目



【女子】
準々決勝、準決勝ともに大差でコールド勝ちし、決勝戦でも序盤から小刻みに加点してリードを広げ、5年連続30回目的優勝。男子とともに、県内高校4大会を完全制覇した。

附属高校に7対0でコールド勝ちしており、今大会でも危ない戦いぶりです。頂点に立った。8月2日から広島県尾道市で開催される全国高校総体でも、まずは初戦を突破して勢いに乗りたい。

【男子】
県総体決勝戦では投打がかみ合い、9対2の5回コールド勝ちで2年ぶりの優勝を果たした。

翌日には山口県代表の徳山高校を迎え、インターハイ出場権をかけたブロック代表決定戦を行った。序盤から終始リードを奪ったものの、最終回の不運で逆転

顧問 顧問	長谷川 泰丞(2年)	伊藤 達弘(3年)	常松 瑞希(3年)	飯塚 弘樹(3年)	藤原 啓悟(3年)	梶原 明(3年)	部員 高尾 祥平	顧問 顧問	陶山 雄大(2年)	永瀬 開斗(2年)	飯塚 成希(2年)	藤原 一樹(2年)	松村 涼大(2年)	細木 悠作(2年)	板垣 俊平(1年)	奥井 祐介(1年)	山根 遥己(1年)	渡部 沙彩(2年)
-------	------------	-----------	-----------	-----------	-----------	----------	----------	-------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

顧問 顧問	長岡 将司(監督)	中曾 拓人	木次 美雪(3年)	田島 実侑(3年)	周藤 舞(3年)	内藤 七海(3年)	青木 真衣子(3年)	板倉 知香(3年)	加藤 千佳(3年)	小林 大子(3年)	永見 日奈子(3年)	難波 夏里(3年)	塚本 有香(2年)	妹尾 有希(2年)	難波 紫(2年)	野津 日和(2年)	山本 早季(2年)	深田 彩華(1年)	定本 紗生(1年)	小村 優希(1年)	細木 未悠(1年)
-------	-----------	-------	-----------	-----------	----------	-----------	------------	-----------	-----------	-----------	------------	-----------	-----------	-----------	----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

バレーボール

(6/2、浜田市)

初戦突破も

エイト入り逃す

【女子】(ベスト16)

1回戦

三刀屋 0 浜田商業

2回戦

第2セットは23点まで猛追

三刀屋0 松江南

男子

2年ぶりエイト復帰

(6/2、3、カミアリーナ)

【男子】(ベスト8)

1回戦

三刀屋 69 49 松江南

2回戦
三刀屋 68 54 出雲
準々決勝
三刀屋 39 103 松江東
【女子】

1回戦
第3ピリオドまでの
リードを守れず惜敗
三刀屋 32 37 矢上

バスケットボール



中国大会(インターハイ予選)出場権獲得

高野さん(女子砲丸投5位)

吉川さん(男子水泳100m平泳ぎ2位)

(男子水泳200m平泳ぎ3位)

陸上競技

(5/27、29、松江市営陸上競技場)

山田さんトップエイト

【男子】

走幅跳

8位 山田 幹(3年)

五千m

9位 名原優太(1年)

八百m

予選通過(準決勝進出)

松原瑠星(3年)

【女子】

100m

予選通過(準決勝進出)

小豆澤真帆(2年)

砲丸投

5位 高野彩香(1年)

陸上競技は、各種目6

位以内が岡山市で開催

される中国大会へ

水泳

社会体育

(6/4、県立水泳プール)

【男子】

100m平泳ぎ

2位 吉川航輝(2年)

二百メートル平泳ぎ

3位 吉川航輝

この結果、7月22日から

岡山市で開催される中国

大会(インターハイ予選)

への出場権を獲得。



社会体育で競技を続ける吉川さん。



1年生ながら5位と大健闘の高野さん。

ソフトテニス

(6/2、4、

浜山公園テニス場)

【男子団体】

1回戦

三刀屋0 島根中央

【男子個人】

2回戦進出

乗本健史(3年)

小林昂貴(3年)

3回戦進出

安食拓哉(3年)

若槻克弥(3年)

【女子団体】(ベスト16)

1回戦

三刀屋 0 島根中央

2回戦

三刀屋1 松江南

【女子個人】

2回戦進出

島奈瑠美(2年)

武田夏乃子(1年)

3回戦進出

菅田野衣(2年)

若槻真依(1年)

土谷美蘭(1年)

卓球

(6/2、4、益田市民体育館)

【男子団体】

1回戦

三刀屋0 大田

【男子個人単】

2回戦進出

山毛翔太(3年)

【男子個人複】

2回戦進出

山毛翔太(3年)

和泉 僚(2年)

【女子団体】

1回戦

三刀屋0 浜田

【女子個人単】

2回戦進出

中西優貴(2年)

3回戦進出

若槻帆乃佳(3年)

【女子個人複】

2回戦進出

石田歩実(3年)

若槻帆乃佳(3年)

柔道

(5/28、29、県立武道館)

【男子団体】

1回戦

三刀屋0 出雲工業

【男子個人】

2回戦進出(ベスト16)

73kg級 須山暁裕(2年)

66kg級 石田一伎(3年)

剣道

(6/3、松江市総合体育館)

【男子】

部員が3年生2名のため団

体戦に出場できず、個人戦も

初戦突破はならなかった。

4月の県大会では個人戦で

4回戦まで進出(ベスト16)

した安部勝久(3年)さんが、

明日から岡山市で開催される

中国大会に出場する。高校最

後の大舞台での健闘を期待し

たい。



第54回島根県高校総体 点描 2016

男子バスケットボールがベスト8入りした瞬間のベンチ

若き日の恩田君?



<県総体の記録>
個人競技は2回戦進出または入賞以上等を掲載しました。各部の結果詳細は、生徒会執行部発行の『Sanko-Now』(学校HP掲載)をご覧ください。



少林寺拳法 社会体育
5月に米子市で開催された鳥取県との合同選考会で、夏の全国高校総体(岡山県美作市)に出場する島根県代表選手が決定した。本校関係分は次の通り。
自由単独演武(島根県代表)
門脇宥紀菜(3年)

野球は総体競技ではありません

野 球 出雲地区大会 (浜山球場) **準優勝**

<2回戦> 5/28

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
三刀屋	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
出雲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

<準決勝> 5/29

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計
出雲商業	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
三刀屋	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2

<決勝> 6/1

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
三刀屋	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
大社	2	0	0	0	2	0	2	2	×	8

決勝戦では4月の大会で0対1と敗れた大社に雪辱したかったが、延長戦を含めて2試合連続完投したエース朝日を温存。先制したものの小刻みに加点されて優勝はならなかった。

接戦に強い粘りの三高!
エース朝日の粘投に打線が応えられるかが鍵



図書館も選手を応援しました!

心と体のサプリ本を紹介!

県総体を前に、今年も図書館ではスポーツ選手のための「栄養学(食事)」「メンタルトレーニング」「ストレッチ・テーピング」等々を紹介する書籍を特集展示して選手を応援しました。





<三高の文化部>
 写真 ESS JRC
 美術 書道 文芸 楽
 華道 演劇 吹奏 学
 筆曲 放送 自然 科
 <同好会>
 合唱 パソコン ダンス

勝敗を決する体育系の部活動に対して、文化部は順位や賞を競う活動ばかりではない。このため何をやっているか分からないとの声も少なくないが、県全体の期間と重なる5月末から6月上旬にかけては毎年、高文連の各専門部でもコンクールのほか、フェスティバル・講習会等、意欲的な活動がさまざま展開されている。注目!

書道

書と自分に向き合う緊張感!

19校144名が参加

5月27日(金)、大田市の仁摩町農村環境改善センターを会場に標記コンクールが開催され、県内19校から昨年来、本校からも書道部員7名が参加した。会場で仕上げた作品が審査



凛とした雰囲気の中で、二つの課題作品(臨書・創作)に挑戦

高文連書道コンクール

され、本校は3名の作品が特選に選ばれた。

- 審査結果
- 特選 妹尾有真(3年)
 - 渡部真夕(2年)
 - 藤坂有加(1年)

放送

兼第63回NHK杯全国放送コンテスト地区予選

2名が県大会出場へ(アナウンス・朗読部門)

(5/26、松江南高校) 7月に東京で開催されるNHK杯に向けた最初の関門、松江地区予選には、アナウン

美術

高文連出雲地区高校美術講習会

出雲地区10校から128名参加

2泊3日の美術講習会

三高からは16名参加



標記出雲地区講習会には10校128名が参加。本校からは美術部員16名が参加し、宿泊先の出雲市小境町のサン・レイクからバスで一畑薬師に移動して油絵作品を制作した(写真上段)。

最終日は作品を集めて互いに鑑賞し、さらには講師としてお越しいただいた神戸芸術工科大学の中山先生に、全体の講評をしていただいた。

JRC Junior Red Cross 青少年赤十字



特別養護老人ホーム梅里苑の訪問、広島市の平和記念日に向けて千羽鶴の作成、学校内

外での清掃活動等々、幅広い活動を行っている。前号で既報の通り、5月初めには熊本地震災援金募金活動をみしまや三刀屋店で行いました。

本日は、県内高校のJRC部員が一堂に会す春季協議会を開催し、事務局校として企

得した。

新入生部員も、短い練習期間にもかかわらず堂々の発表をみせ、今後に期待が膨らんだ。



画から準備・運営まで担当する。

校内では有志が募金活動 JRCの校外での募金活動とは別に、2年生を中心として有志9名が3日間、昼休みの昇降口で熊本地震災援募金を呼びかけた。

吹奏楽

第51回出雲地区吹奏楽祭

中高36団体が出演

(6/4、出雲市民会館) 鳥根県出雲地区吹奏楽祭が6月4日、出雲市民会館で開催された。中高の36団体が出演。本校吹奏楽部は、今年度の全日本吹奏楽コンクール課題曲「マーチ・スカイブルー・ドリーム」(作曲/矢藤学)と「ブラジル」(作曲/バロ

アナウンス原稿 高見ひのめ(2年)

「生き物にはすべて『さん』付け。『そう話すのは、理科の藤原先生です。教務部長でもある先生は、終業式で生き物の中でも特に、植物に関連した話をしてくださいました。生物を担当しておられる藤原先生。なぜ生き物に『さん』付けをするのでしょうか。植物の生き方は人間にも参考になるところがあり、尊敬できるからだとおっしゃっていました。以前の終業式でも、『麦は踏まれることによってストレスを感じ、成長します。人間も、植物のようにストレスを与えられても、めげずに逞しく生きていかなければなりません。』と話しておられました。これからも、生き物を通して生徒たちにメッセージを伝えていく藤原先生。今後のお話に期待がたかまります。」

ソ)の2曲を披露した。1年生12名が入部し、昨年の同時期より7名多い38名で活動する吹奏楽部。野球県大会での応援演奏のほか、今年度はインターハイポト競技の開会式での演奏予定もあつて体力勝負ともなりそうだが、一番の目標は2ヶ月後に迫った吹奏楽コンクール。益々練習に熱の入る暑い夏を迎える。



引き続き 文化部紹介

箏曲

本校OGの外部講師日之蔵智子先生のご指導のもとで練習を続けています。お箏(琴)で弾くのはお正月に耳にする定番の曲のほか童謡唱歌、クラシック、宮崎駿アニメの主題歌、S.M.A.Pの名曲等々、バラエティーに富んでいます。今年も1年生が4名入部し、十七絃やお三味線も加わって一層華やかな合奏が可能となりました。



入学式・卒業式では、呼名場面でのBGMとして箏曲部が演奏します。

文芸

部員以外の個人出品も可能です

高文連文芸コンクールに応募しませんか

募集 7月1日～8月9日
表彰 11月18日

が主催する同コンクールは、小説・随筆(エッセイ)・詩・短歌・俳句・文芸部誌の6部門で募集します。顧問は、「文芸部に入って一緒に創作を楽しみませんか。兼部もまったく問題ありません。入部はちょっとと迷っている人も、個人資格で応募できます。応募のお手伝いもしますので、

演劇

高文連演劇講習会

(6/23、ラメール) 毎年恒例の演劇講習会には、県内15校から約190名の演劇仲間が集い、掛分分校の亀尾佳宏教諭とご存知劇団ハタ子族の西藤将人さんを講師に舞台技術を総合的に学んだ。本校からも今春の新人部員15名を含んで最多の29名が参加し、舞台作りの技術を基礎から学んだ後、キャストとスタッフに分かれて講習を受け、

最後は学年別にミニ芝居を作って発表した。



茶道

三流流の福岡喜代美先生をお呼びして、玄関前の「蒼雲館」和室で月2回程度、水曜日の放課後に活動しています。3年生2名に、新入生5名が加わって和室は静かな熱気に包まれています。



華道・茶道・美術の三部で匠の技を磨いた文化部の鉄人上田さん。

華道

月に1～2回、講師の安部治美先生(池坊)に優しく指導していただきながら、楽しく花をいけています。1年生が3名入部して現在部員は5名。高校からお花を始めた初

心者はかりです。

文化祭での作品展示はもちろん、入学式や卒業式等、お客様をお迎えする場面では華道部のおもてなしの心が作品となつて校内の随所を飾ります。昨年度は池坊のHP上で行われる「インターネット花

展」にも応募しました。兼部も可能ですので、ぜひ見学に来てください。

ESS

(English Speaking Society)



スマホの画面を使ってゲーム?の説明をするマイア先生(左側奥)。

部員5名で毎週水曜日に、ALTのマイア・リー先生との会話を楽しんでいます。西暦の放課後に活動しています。3年生2名に、新入生5名が加わって和室は静かな熱気に包まれています。

パソコン同好会

スモウルビー・プログラミング甲子園ベスト4

2年生部員2名は、鳥根県が普及を後押しするプログラミング言語「Ruby(ルビー)」の習得も目指しながら、日々パソコン教室で活動を続けています。3月に開催された「スモウルビー・プログラミング甲子園」決勝大会では、見事ベスト4入りを果たしました。同好会ながらも、他校のパソコン部に負けない充実した活動を展開しています。



気軽に相談に来てください。とのこと。三高祭(学園祭)では、部員の力作を集めた文芸部誌「日和(ひより)」を発行しています。

<入場無料>

7/9(土)

第11回

鳥根県高等学校文化フェスティバル

プラバホール(松江市)

高校生のステージ・展示発表をお楽しみください

保護者の皆様へ

お知らせとお願い

進路関係の行事予定については8頁もご覧ください。

1 地区PTA & 保護者面談について

7月前半を中心とする地区PTAについては、現在、支部長様を中心に日程を調整していただいております。決定次第、お子様を通じてご案内の文書をお届けいたします。

また、夏の全国高校総体ボート競技開催のため、年度当初には一学期末の保護者面談の日程が未確定でしたが、次の通りお願いいたします。

- 1年、2年 保護者面談 7月19日(月)~22日(金)
 - 3年 三者面談 7月19日(月)~28日(木)
- (土日を除く平日)

なお、担任によっては出張等の都合により、上記基準日とは異なる期日でご案内することがありますが、ご了承下さい。

2 雲南バンドフェスティバル

7/10【日】

加茂文化ホール
ラメール(有料)

全日本吹奏楽コンクール島根県大会直前のプレ発表会 ~ 雲南・奥出雲地区の中高吹奏楽仲間が結集します!

3 「情報モラル・セキュリティー講座」 ご家庭でも話題にしてみてください

独立行政法人情報処理推進機構(IPA)セキュリティーセンターの奥田美幸氏を講師に招いて5月18日、1・2年生を対象に情報モラル・セキュリティー講座を開催しました。インターネットの危険性について、最近の事例も交えてとてもわかりやすく説明していただき、普段の講演以上に真剣に聞き入る生徒の姿がありました。危機意識を持って正しくネット社会に接するため、中学や高校では毎年このような講演会を開催しています。対応が遅れているのは案外大人かもしれません。学校HPにも当日のお話を詳述しております(5月25日付新着情報)のでぜひご家庭でも話題にしてみてください。

4 奨学金のご案内です



(1) 平成28年度日本学生支援機構大学等奨学金(予約)

すでに6月8日に3年生対象の申し込み手続き説明会を実施しました。必要書類の提出期限を6月25日(土)としておりますのでご注意ください。

募集対象 国内の大学・短大・専修学校専門課程への進学後に奨学金を希望する人(専修学校によっては取り扱わない場合もあります)

現3年生が対象です

不明な点は総務部の担当者(須田)までお問い合わせください。

奨学金の種類
 第一種奨学金 無利子の奨学金(貸与)です
 第二種奨学金 有利子の奨学金(貸与)です
 入学時特別増額貸与奨学金(有利子貸与)
 入学前に奨学金を借りることは出来ません
 第一種奨学金と第二種奨学金の併用希望も可能です
 申込基準 学力基準と家計基準です

(2) 公益財団法人日本教育公務員弘済会島根支部 高等学校等給付奨学生募集

全学年対象です

応募条件
 1) 家庭の事情により、学費支払いが困難と認められる者
 2) 向学心に富み、かつ学業に耐えうるもの
 3) 校長の推薦を受けたもの - 原則として各高校1名以内
 4) これまでに、この奨学金を受けていないもの

給付内容
 1) 給付額 一人当たり 15万円
 2) 全県で44人 三刀屋高校から1名推薦

返還義務のない奨学金給付事業です

3) 原則として返還の必要はありません
 複数の応募者があった場合は校内で選考し、1名を推薦します。選考にあたっては経済面を重視します。
 応募必要書類提出切は6月20日(月)です。提出書類が数種類必要ですが、「市町村長が発行する同一生計家族の所得証明書」も必要となります。ご希望される場合には、早めにご準備をお願いいたします。まずはお子様を通じて願書を総務部(担当:曾田)までご請求ください。

<お断り> ... JRC部・写真部・自然科学部については、すでに今月14日から昨日にかけて大会が開催されておりますが、発行スケジュールの都合により、内容紹介は次号に回させていただきます。記事は6月10日現在の予定として掲載しております。

自然科学

今月は高文連自然科学専門部主催の「実験観察研修会」が1泊2日で大田市の三瓶青少年交流の家と三瓶

写真

高文連写真専門部は、春と秋の年2回のコンクールを行い、両コンクールで特選となった作品が一堂に会する県高校写真展を年末に開催します。今月14日に春季写真コンクール(東部地区講習会)が松江工業高校で開催され、本教員12名も参加しました。審査結果は次号で紹介いたします。

ダンス同好会

今年度は2年生のみ3名で活動中。少人数ですが、今年も学園祭でのステージが楽しみです。

自然館サヒメルを会場に行われ、2年生部員3名が参加します。初日には、実験観察研修が行われるとともに夕食後には講義が、2日目には、サヒメルの施設見学および講義が開催される予定です。7月には恒例の「益田サイエンスタウン」にも参加し、活動の幅を広げようと頑張っています。

<1学期後半> 道を拓く三高キャリア教育2016

進路指導関連の予定

進路だより第1号(6月8日発行)とあわせてご覧ください

紙面の都合で「地域産業研究」に係る動きは省略

【6月】

6月8日(水) 3年生対象

<日本学生支援機構予約奨学金
申し込み手続き説明会>

6月10日(金)

<2年生進路講演会>

講師:村上育朗氏

(教育未来研究会「そうぞう」)

演題:「高校生としての『旬』を生きる
~進路目標実現に向けてなすべきこと~

6月11日(土)

<保護者進路講演会>

講師:同上

演題:「備えあれば憂いなし」

~これからの時代を生き抜くために~

6月28日(火)

<大学等説明会> 保護者も可

中国地区の大学・短大・専門学校
約40校の個別説明会

【7月】

7月7日(木)

<雲南管内高校生による企業見学>

3年民間就職希望者対象

7月14日(木)

<3年生進路講演会>

講師:山崎裕正 准教授

(香川大学アドミッションセンター)

演題:三刀屋高校生のための
入試対策講座

7月21日

<高校生ジョブフェア>

3年生就職志望者対象、保護者も可
会場:くにびきメッセ(松江市)

<島根大学学部説明会>

・全学年希望者、保護者も可

7月~8月を中心として

<看護体験等>

<上級学校オープンキャンパス>



3

進路講演会

2年生(6/10)と保護者(6/11)を対象とした村上育朗氏の講演会は、例年のことながら聴講した皆さんにとって大きな刺激となったようです。内容は次号で紹介いたします。

今春卒業生は、高校に入学した段階から例年と違って就職志望の生徒が多く、実際28名が民間企業に就職しました。そして、その大半が自宅から通勤しています。自宅通勤の比率の高さには、本校を訪問されるお客様が一樣に驚かれるようです。地元企業からの求人数増加のお蔭でもありますが、小中高一貫した地域で繋ぐキャリア教育の成果ではないでしょうか。



今春卒業生の例

平成28年度(今春)入試から島根大学では、全学部で地域に貢献する意欲ある人材の育成を目指す新入試を取り入れました(COC入試)。

国立大学では全国初となる取り組みで、山陰地方から地域志向の強い学生を受け入れます。COC入試で入学してきた学生は、自らが所属する学部の専門科目と「COC人材育成コース」として用意する地域関連科目を系統的に学ぶことで、専門的な知識・技能を修得するとともに地域の課題に対応する応用を身に付けることができます。COC入試を通じて、卒業後に地域で活躍し、地域とともに地域活性化や地域課題解決に取り組む人材の養成を目指します。(島大HP)

このCOC入試で本校からは4名が合格

平成26年度から3年間の「地域でつなぐキャリア教育モデル事業実践校(県教委指定)」としての取り組みを検証しながら、今後地域と一体となって、地域に貢献する意欲を持つ生徒を育成します。

島根県内でも地元企業から高校への求人数はここ3年で増傾向にあるものの、大都市圏ほどの景気回復の兆しは鈍いようです。以前に比べて県内就職希望の割合は他校でも高く、進路指導部では県東部を中心に地元企業との情報交換の場を持って、進路目標の実現に努力しています。このほか、進路指導全般に関する取り組みの一部を以下に紹介します。

1

学校と企業の就職情報交換

先月から30社以上 進路指導部と新旧3

年担任を中心として、5月下旬から30社以上の事業所を訪問している最中です。本校を卒業して就職した者の近況を聞き、支援することと早期離職を防ぐとともに、今年度の就職志望者(志望者は例年並みの約1割)のための情報収集と新規の求人開拓を狙いとしています。

2

大学等説明会
就職・公務員志望者への総合説明会

学校にいながら、中国地区の複数の上級学校の説明を聞ける良い機会です。25分間ずつで最大3校まで聞けます。また、就職・公務員志望者への総合説明会(面接指導等も)も実施します。

6/28(火) 大学等説明会(参加予定校) 13:30~15:00

- 島根大学 島根県立大学浜田キャンパス 島根県立大学出雲キャンパス 島根県立大学短期大学部 公立鳥取環境大学 鳥取看護大学 鳥取短期大学 新見公立大学 新見公立短期大学 広島修道大学 広島経済大学 広島文教女子大学 広島工業大学 比治山大学 比治山大学短期大学部 岡山理科大学 川崎医療福祉大学 美作大学 美作大学短期大学部 島根職業能力開発短期大学校 島根県立東部高等技術校 島根県立石見高等看護学院 浜田医療センター附属看護学校 島根リハビリテーション学院 専門学校松江総合ビジネスカレッジ 山陰中央専門学校 松江総合医療専門学校 島根県歯科技術専門学校 松江栄養調理製菓専門学校 松江理容美容専門学校 トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校 出雲医療看護専門学校 広島コンピュータ専門学校 広島情報ビジネス専門学校 広島公務員専門学校 広島酔心調理製菓専門学校 グラムール美容専門学校 小井手ファッションビューティ専門学校

<協力>株式会社さんぼう 参加校に変更の可能性があります

日	曜	学校行事等	部活等
20	月	試験発表、ｽｰﾌﾟ再検査	
21	火	避難訓練	
22	水	S.C	
23	木	家庭クラブ総会	
24	金		
25	土	出校日(月曜日の授業)	
26	日	学校開放	
27	月	期末試験1日目	
28	火	期末試験2日目、大学等説明会	
29	水	5/25の代休日	
30	木	期末試験3日目	



日	曜	学校行事等	部活等
1	金	期末試験最終日	
2	土		
3	日		
4	月		
5	火	防犯教室	
6	水		
7	木	雲南管内企業見学(3年民間就職希望者)	
8	金	壮行式 第1回漢検 1年進研学力テスト 3年進研記述模試	
9	土	3年進研記述模試 県高文連文化フェスティバル	
10	日	雲南バンドフェスティバル&インターハイPR活動(ラメール) 参議院選挙	
11	月		
12	火	学園祭LHR 第2回PTA生活指導委員会兼人権・同和教育推進委員会	
13	水	S.C	野球県大会(~24)
14	木	3年進路講演会	
15	金	全国高P連香川大会 3年M模試 6限授業	
16	土	3年M模試 看護医療模試	
17	日		陸上国体予選
18	月	海の日	
19	火	特別時間割(~26) 学園祭クラス集会	1・2年保護者面談(~22日) 3年三者面談(~28)
20	水	PTA木次地区バンド	
21	木	ジョブフェア(松江)、島根大学学部説明会(希望者)	
22	金		
23	土		
24	日		
25	月	3年小論模試 PTA三刀屋地区バンド	
26	火	終業式(午後) 学園祭分団集会	
27	水	3年夏期補習	
28	木	3年夏期補習	全国総体ボート競技開会式(アサヒ)
29	金	3年夏期補習	全国総体ボート競技(~8/1)(さくらおるち湖)
30	土	3年大学別オープン模試	全国高等学校総合文化祭広島大会(美術・写真・書道、~8/3)
31	日		



参議院議員選挙

7/10(日) 投票開票

6/22 公示

当初は6月23日公示の案でしたが、沖縄の「慰霊の日」と重なり「鎮魂の日になじまない」(島尻沖縄相)ことから1日早くなりました。

昨年6月の公職選挙法改正によって、選挙権年齢が20歳以上から18歳以上に引き下げられて初めての国政選挙です。(他の地方選挙においては、これ以前にも選挙があります。)

投票日が18歳の誕生日の人、また投票日の翌日が誕生日の人でも投票できます。公職選挙法では誕生日の前日に年を取ると解釈されているためです。今回の参院選の場合、投票日が7月10日なら1998年7月11日生まれの人まで投票できます。3年生で7月11日生まれのあなた、あなたにも投票する権利があることを忘れないで下さい(選挙権を有する高校生にも、事前に住民票の住所に通知がきます)。

学校では 3年生を対象に(5/17) 1 主権者教育講座を開催

雲南市総務部選挙・法務グループから講師を招き、選挙全般に係る説明を受けました。公民科の授業で選挙制度について学んでいますが、今回の講座では「選挙クイズ」なども



盛り込んで、選挙をより身近に感じられるように講話していただきました。

「選挙の仕組みがよくわかって良かったです。」(男子)
「自分が有権者になったら、自分の意見を代弁してくれる人を良く考えて投票したいです。」(女子)

保護者の皆様も、このような機会に、ぜひご家庭で選挙について話題にしていただけたいと思います。

ここでクイズを一つ(復習です)。

Q. 電子メールを使った選挙運動は合法? 違法?
A. 候補者と政党はできますが、それ以外の人は年齢に関わらずできません。候補者や政党から届いた選挙運動のための電子メールを、ほかの人に転送することも禁止されています。選挙権を有する高校生の政治活動は合法ですが、友達にメールで安易に特定候補者への投票を依頼すれば、それは選挙違反となります。

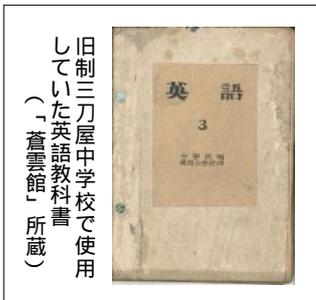
2 投票日の7月10日(日)には加茂文化ホールラメールを会場に、雲南圏域の中高吹奏楽部による「雲南バンドフェスティバル」と「インターハイPR活動」も予定されています。その他、原則朝7時から夜20時までの投票時間(実際には終了時刻が早い投票所があるので注意)に投票所に行けない可能性があれば、期日前投票の利用を検討してください。

3 島根県高等学校PTA連合会(高P連)では12日(土)に研修会を松江市で開催し18歳選挙権の留意点が話し合われました(PTA会報で報告します)。

三高92年物語

第25回 英語教育事情(今昔)

高校入試での英語必須は昭和38年から
(9教科900点満点の高校入試に)



旧制三刀屋中学校で使用していた英語教科書
(「蒼雲館」所蔵)

戦時中の英語は敵性語とされ、口にできなくなつた。野球の「ストライク」が「良し」、「ボール」が「駄目」となり、花の「コスモス」が「秋桜」と漢字表記されるなどした。

戦後は、当然英語教育も復活したが、しばらくは高校入試で英語が必須とはな

戦後の英語教育が中学校において不十分であったり、学校差があったりしたので、入学選抜の資料にするには不適切であったためだった。しかしその後、英語教育の重要性が叫ばれるようになったため、(中略)38年には英語が必修となつて、9教科完全実施900点満点となった。

右の通り、島根県の公立高校入試で英語が必須となつたのは、団塊世代が高校受験を迎えた昭和38年からの

ことだった(彼ら第一次ベビーブーム世代は、常に厳しい競争を生き抜いた遅い世代だった)。保健体育や音楽、図工も含めて9教科900点満点の入試となつた。当時は一クラス55人学級時代で、教室は教員が机間巡視もできないすし詰め状態だった。

理系文系を問わず、高校からの上級学校受験の可否を特に左右するのが英語の成績で、1月の大学入試センター試験も、毎年英語の受験者数が最も多い。また国際化・グローバル化の中で、小学校でも2011年度からは5、6年生に週1

回の「外国語活動」が必修化された。教科外の「活動」で外国語に親しむことが最優先だが、この「活動」を3、4年生に引き下げ、5、6年生は週3コマ程度の教科になる予定だ。教科であり、小学生も教科書で学び、評価を受けることになる。

雲南市の英語教育 小中高連携に期待

平成26年度からは小中高の英語教育の連携を図るため、「英語教育強化地域拠点事業」が全国18地域102校で取り組まれ、雲南市中・三刀屋高が指定を受けて4年間の研究活動を続けている。



県総体前の5月24日、島根リハビリテーション学院(奥出雲町)の先生、学生が来校し、運動部にケガ予防のためのアドバイスをしていたきました。

地域の見守りに感謝

部活動ケガ予防講習

島根リハビリとの連携

未来の先生も奮闘!

5月30日(月)から4名が、母校の三刀屋高校に帰って教育実習で奮闘しました。

優秀な人材を確保したいのは学校現場も同じ。我々現任教員も実習生を応援したいと思います。小中学校で実習中の皆さんにもエールを送ります。そして、現役三高生の中からも、島根の教員を目指す人がもつともつと続いてもらいたいと思います。島根の教員が自宅から地元の学校に通勤できるよつ、我々現場教員は、在籍する各学校で教員志望の生徒も増やそうと奮闘しています。

今年も「鍵かけ甲子園」にエントリー

自転車加害者となる事故を抑止するため、道路交通法が改正されて1年が経ちました。自転車の運転に関するマナー向上を意識した1年前の緊張感が薄らいでいませんか?今一度セルフチェックをしてみましよう。



呼びかける自転車「鍵かけ甲子園」が、今年も春と秋の二回実施されます。期間中は雲南警察署と交通安全協会の皆さんに、抜き打ちで施錠状況を確認してもらいます。昨年は交通安全委員会や生徒指導部による啓発活動もあつて、本校の平均施錠率は99.8%、参加32校中3位で優秀賞を獲得しました。一昨年にあつた自転車紛失も、昨年度は一件もありませんでした。



5月31日(火)、世界禁煙デーと歯と口の健康週間を推進するキャンペーンが行われました。

世界禁煙デー・歯と口の健康週間

ず、今日では加害者になつてはならないのは勿論、被害者にならないための行動が求められています。それが安心安全な社会作りの条件であることを、

三高生は自転車の「鍵かけ」からも学んでくれたことでしょうか。たかが自転車の「鍵かけ」、されど自転車の「鍵かけ」!

雲南保健所の皆さんが生徒の登校時に合わせて、昇降口前でチラシや啓発グッズを配布。ボードアンケートによつて、タバコの害の大きさや歯と口の手入れの大切さを呼びかけると、生徒は足を止めてアンケートに回答したり、説明に聞き入つたりしていました。



平成28年度全国高等学校総合体育大会

美以咲 君の笑顔と努力の華

2016 情熱疾走 中国総体

開催期間：2016年 7月28日(木)～8月20日(土)

※サッカー(男子)は7月26日(火)～8月2日(火)

開催まで、あと **41** 日

2016
インターハイ

島根 ボート新聞

『蒼雲』版

全国高等学校総合体育大会(インターハイ)は、全国高等学校体育連盟(全国高体連)の主催で毎年8月を中心に開催されます。以前はほとんどの競技を一県で単独開催していましたが、2004年に島根県を主会場に開催された「中国04総体」以後はブロック開催とし、今年度は岡山県を主会場に、中国ブロック5県で開催します。

ボート競技

開会式 7月28日(木) 16時
三刀屋文化体育館アスパル
競技 7月29日(金)～8月1日(月)
会場 さくらおろち湖ボート競技施設
(尾原ダム湖/雲南市・奥出雲町)

選手1,000名の情熱疾走にご声援をお願いします

ボート競技は、雲南圏域5校(三刀屋・掛合・大東・横田・飯南)の高校生が競技運営をお手伝いします。また、県立出雲養護学校雲南分教室の皆さんには、会場を飾るプラントの一部を準備していただきます。

つながろう三高
つながろう雲南



ボート競技のポスター原画は高野寛子さん(3年)が作成

さくらおろち湖

「写真提供：国土交通省 出雲河川事務所」



水を治め、水とともに生きる里でのボート競技全国大会にご声援をお願いします

斐伊川上流の尾原ダムの「尾」は、ヤマタノオロチの尾っぽを意味します。スサノオが退治したヤマタノオロチ(八岐大蛇)は、斐伊川の洪水を象徴すると考えられ、オロチ退治は「治水」につながります。5年前に完成した尾原ダムの建設は、まさに平成のオロチ退治です。ダム堰堤下の石壺神社(写真右下)は、オロチの尾を祀る地に創建され、733年に完成した出雲国風土記にも石壺社として登場します(現在の社殿はダム建設によって移転新築)。

尾原ダム建設は 平成のオロチ退治

奥出雲町(三成・横田)～奥出雲おろちループ～広島県庄原市方面